

カフェや農産物直売所オープン



公園内にオープンした(写真手前)農産物直売所「gogoストア」と「gogocafe」

奈良市角振町の他、東京都や大阪府にフルーツパーラーを出店する株式会社堀内果実園(五條市西吉野町・堀内俊孝代表取締役)は27日、五條市北山町の市立5万人の森公園に、カフェ「gogo(ゴゴ)カフェ」と、農産物直売所「gogostore」をオープンした。同社は創業100年以上、6代にわたり果実を中心に栽培している。五條市内への店舗展開は初。堀内社長は「今回の出店は地元で展開する第一歩になる」と意気込みを語る。

五條市立5万人の森公園

敷地面積が約8万4000平方メートルあり、年間4万人以上が利用する同公園は平成19(2007)年に開設。今年7月1日付で同社が公園の指定管理者になり、今回の出店になった。西隣には建築家の安藤忠雄氏が設計した市立五條文化博物館もあり、県内外から利用者が訪れる。

公園内にバーベキュー広場があり、テーブルやコンロ、肉などがセットになった「BBQセット」(4000円)も取り扱い、追加の野菜セットや焼きそばなどもストアで販売している。

「gogocafe」は、全面窓になっていて、どの席からも公園の緑を見ながら食事ができる。地元の農産物を使ったパスタやカレーの他、かき氷を提供。テイクアウトメニューも販売する。また、いすやブランケット、軽食などが一緒になった「ピクニックセット」(3900円)の販売も行っている。

オープン前日の26日には、平岡清司市長や地元議員、市職員らを招いた試食会や施設内見学を実施。「gogostore」は地元住民らへの販売を行うプレオープンを行った。

堀内社長は「地元の農産物を知ってもらおうと共に、この公園が五條市に訪れるきっかけ、入口の役割を担えれば。今後、星空観察や手持ち花火などのイベントも企画して、公園の名称にもなっている5万人以上に公園を利用してもらいたい」と話した。

「gogostore」では、約50の地元農家らが栽培した農産物を中心に、加工食品や花などを販売。また



公園には、市立五條文化博物館が隣接



バーベキュー広場は「gogostore」で販売するテーブルや肉などのセットを購入し、利用できる



7月1日付で堀内果実園が指定管理者になった市立5万人の森公園

堀内社長「五條に訪れてもらおう、入口の役割を担えれば」



「gogocafe」は全面窓から公園の自然を見ることができる



「gogocafe」で提供する料理の数々



「gogostore」では地元の農産物を中心に加工品などが並ぶ



ピクニックセットを手に笑顔をみせる堀内社長



堀内社長に案内され、地元の野菜が並ぶ直売所を見学する平岡市長